



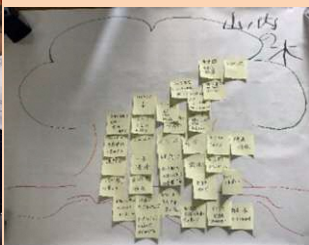
## 蓬萊包括 今月の一枚

# つながいの樹の芽を育て隊が行く～田沢編～



### 山の内の樹チーム

### さん'ずの樹チーム

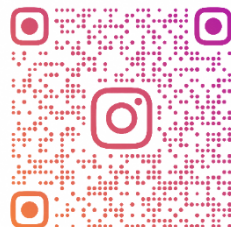


10/14、田沢地区寿会さんに「地域の樹の芽を育て隊」としてワークショップ形式の茶話会を実施しました。CLCの橋本先生から「フレイル」や「健康寿命」などについての講話頂いたあと、参加者とともに、地域の木をテーマにしたワークを実施しました。ワークでは、まず地域の木を自由にイラストで描いていただき、次に付箋紙を使用して「幹の部分」「根(土)の部分」にそれぞれの地域活動や思いを記入してもらいながら、参加者の皆さんとワイワイと話をしながら貼り付けていきました。参加者は「山の内の木」グループと「さん・ずの木」グループの2班に分かれてワークを実践しました。

「山の内の木」グループでは、幹の部分に該当する地域活動が多く挙げられました。中でも、「たざわさん'ず」は月1回開催される産直広場(5月～12月)として、多くの活動の中心となっているとの声がありました。特に、長男で幼なじみの男性陣に対し、奥様方は他地域から嫁いで来られた方が多いため、この産直広場が奥様同士の協力やつながりの場としても機能していることを再発見。

一方、「さん・ずの木」グループでは、「支え合いは当たり前」という地域の価値観が話題となり、「自分たちの上の世代が行ってきたことを引き継ぐ形で、支え合いの活動が今も継続している」といった意見が出されました。ワークショップの最後には、寿会代表の丹治さんより、「今日が一番、皆が活発に会話し合えて良い時間となった」とのお言葉をいただきました。また、改めて田沢地区に根付く“当たり前”の活動や風土こそが地域の“お宝”であることを再認識し、その価値を次世代にも伝えていく意義を共有する機会になったと思います。

**Instagram始動  
しています！活  
動の一部を配信  
中です！**



HOURAIHOUKATSU

